

【主催報告】

関東支部 平成 29 年度第 1 回油化学セミナー 「成功する新規事業のつくりかた」開催報告

花王株式会社ヘルスケア食品研究所 清水 将夫

平成 29 年度の関東支部第 1 回油化学セミナーが、平成 29 年 6 月 23 日(金)に日本化学会との協賛で、東京都品川区旗の台の昭和大学上条講堂を会場として開催されました。企業の 10 年後生存率が 10%以下といわれる中、日本には長寿企業が数多く存在します。その歴史を紐解くと、新規事業の展開により環境変化に柔軟に対応してきたことが挙げられます。そこで、今回のセミナーは「成功する新規事業のつくりかた」と題し、新規事業の成功の要となるアイデア開発の手法とあわせて、油脂産業を代表する 3 つの新規事業の成功例を紹介いただきました。梅雨時でしたがセミナー当日は天候にも恵まれ、講師の先生 4 名を含む 80 名以上の方にご参加いただきました。

初めに、株式会社アイデアポイントの東信和先生より「ユニークな新規事業アイデアの作り方(ひらめきの作法)」と題し、アイデア開発の手法についてご講演いただきました。成功する新規事業のためのユニークなアイデアが必要です。驚きのある良いアイデアを効果的に生み出すには、「作法(型)」の理解と修得が重要ということで、本講演ではその発想法を、東先生のご経験に基づく具体的な事例を交えながら解説いただきました。新規事業のための驚きのあるアイデアは、①面白いと思うアイデアを数多く出し、②その面白さの理由を考え、③そこから「○○といえば○○」といった既存概念(バイアス)を抽出し、④バイアス上にない価値にターゲットを定め、⑤新たな要素を加える(新結合)、バイアスブレイクの発想法により効率的に生み出せるそうです。良いアイデアとは、シンプルであり(価値は1つに絞る。2つ以上語ると、何も語っていないのと同じ)、納得させられる要素があり、扱いやすい(直感的に使える)とのことでした。示唆に富み、実践的なご講演でした。

続いて、ライオン株式会社の村越先生からは、「『ラクトフェリン』の新機能 内臓脂肪低減効果の発見と機能性表示食品としての実用化」と題し、ラクトフェリンの新たな機能としての内臓脂肪低減作用の発見から、機能性表示食品として商品化するまでの経緯をご紹介いただきました。ラクトフェリンは母乳より見出された多機能性タンパク質(感染防御、免疫力向上など)で、口腔環境改善に関する動物試験のなかで、内臓脂肪低減に対しても効果があることが見出されました。当時、メタボ予防の重要性に注目が高まっていたことから、メタボ改善につながる「内臓脂肪低減効果を有する食品の開発」を開発テーマとし、商品設計(ラクトフェリンが胃で分解されず、腸まで届く腸溶性技術の開発)、ヒト臨床試験の実施、作用メカニズムの解析を進めることで、ラクトフェリンはいち早く機能性表示食品として受理されています。

次に、日油株式会社的首藤先生より「生体適合性リン脂質ポリマーの開発」についてご講演いただきました。生体適合性リン脂質ポリマーはホスホリルコリン基を持ち、細胞膜の主要構成成分であるリン脂質と同様の物理化学的性質を有することで、優れた生体適合性を有します。本講演ではその高い生体適合性や細胞保護機能を利用した、アイケア製品や化粧品、医薬品、再生医療など様々な応用例をご紹介いただきました。生体適合性を考えるには分子レベルの詳細なイメージが重要とのことで、一般のポリマーは“のたうちまわるとげのある細いヘビ”で、細胞膜表面のタンパク質である“完璧に折りたたまれた太い毛糸玉”の表面を乱すが、生体適合性の高いリン脂質ポリマーは乱さないと、具体的にイメージしやすい喩で生体適合性をご説明いただきました。成功する応用研究には、たくさんのチャレンジと失敗が必要と締めくくられました。

最後に、株式会社ユーグレナの鈴木先生より、「微細藻類ユーグレナの研究開発と事業展開の可能性について」と題し、ご講演いただきました。株式会社ユーグレナは、世界で初めて食用に微細藻類ユーグレナ(ミドリムシ)の屋外大量培養に成功し、機能性素材として食品や化粧品に展開しています。当初、ミドリムシの名前を食品に使わないようにしていたそうですが、日本未来館で「ミドリムシクッキー」を販売したところ、驚きをもって一般の人に受け入れられ、認知度が向上したそうです。現在はミドリムシの高い栄養価を利用したヘルスケア分野に展開していますが、バイオマスの5F(食糧→繊維→飼料→肥料→燃料)を基本戦略に、ミドリムシによる炭素循環社会に向けてエネルギー・環境課題を解決する大きな技術開発に取り組んでいくそうです。初めの頃には、やめた方がいいのではないかとの声もあったそうですが、自らの考えがサイエンスで否定されず矛盾を生じない限りは方向性に間違いはないと信じ、乗り越えてきたそうです。サイエンスに支えられた高い理想を掲げ、ミドリムシの作る未来に対する強い信念を持って事業を進める姿がとても印象的でした。

閉会後には、昭和大学入院棟 17F のタワーレストラン昭和で懇親会が行われました。素晴らしい眺望の会場においてもセミナーの熱気は引き継がれ、活発な意見交換がなされました。本セミナーをきっかけとして、将来、素晴らしい新規事業が生まれそうな予感がしました。最後になりましたが、本セミナーの開催にあたり、お忙しい中ご講演いただきました講師の先生方に心より感謝申し上げます。



左から、講師の東信和先生、村越倫明先生、首藤健志郎先生、鈴木健吾先生



懇親会の様子